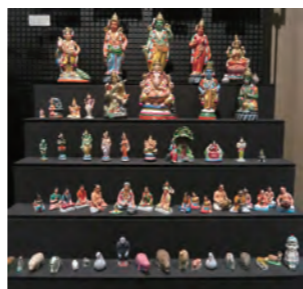


南アジア 祭礼用人形飾り / インド H0173670

インド南部タミル・ナードゥ州、特にその州都のチェンナイでは、女神祭礼のとき家庭ごとに神像をはじめ、さまざまな像を段飾りにします。飾る神像や人物、動物の像などに決まりはなく、家庭にある像をありたけ、にぎやかに飾りつけます。展示しているのはその一例で、うさぎの他にもいろいろな動物が並べられています。
(三尾稔 / グローバル現象研究部)



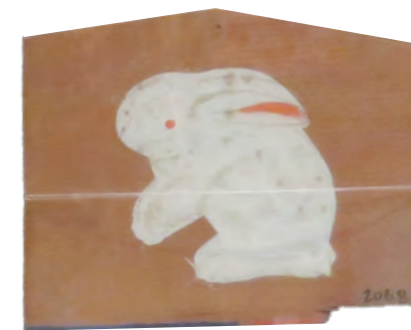
たくさんの動物といっしょに
ならんでいるよ!

中国地域の文化 交趾焼き (十二支) / 中国 H0254267

干支のひとつで食用でもあるうさぎは、中国の人びとにとって身近な動物のひとつです。また、白うさぎは長寿のシンボルでもあり、中国では月のうさぎは不死の薬を作っていると考えられてきました。交趾焼きは中国南部産の陶器を指しますが、交趾はベトナムの古い地名に由来します。ベトナムからの交易船がそれらを日本にもたらしたためです。
(奈良雅史 / 超域フィールド科学研究部)

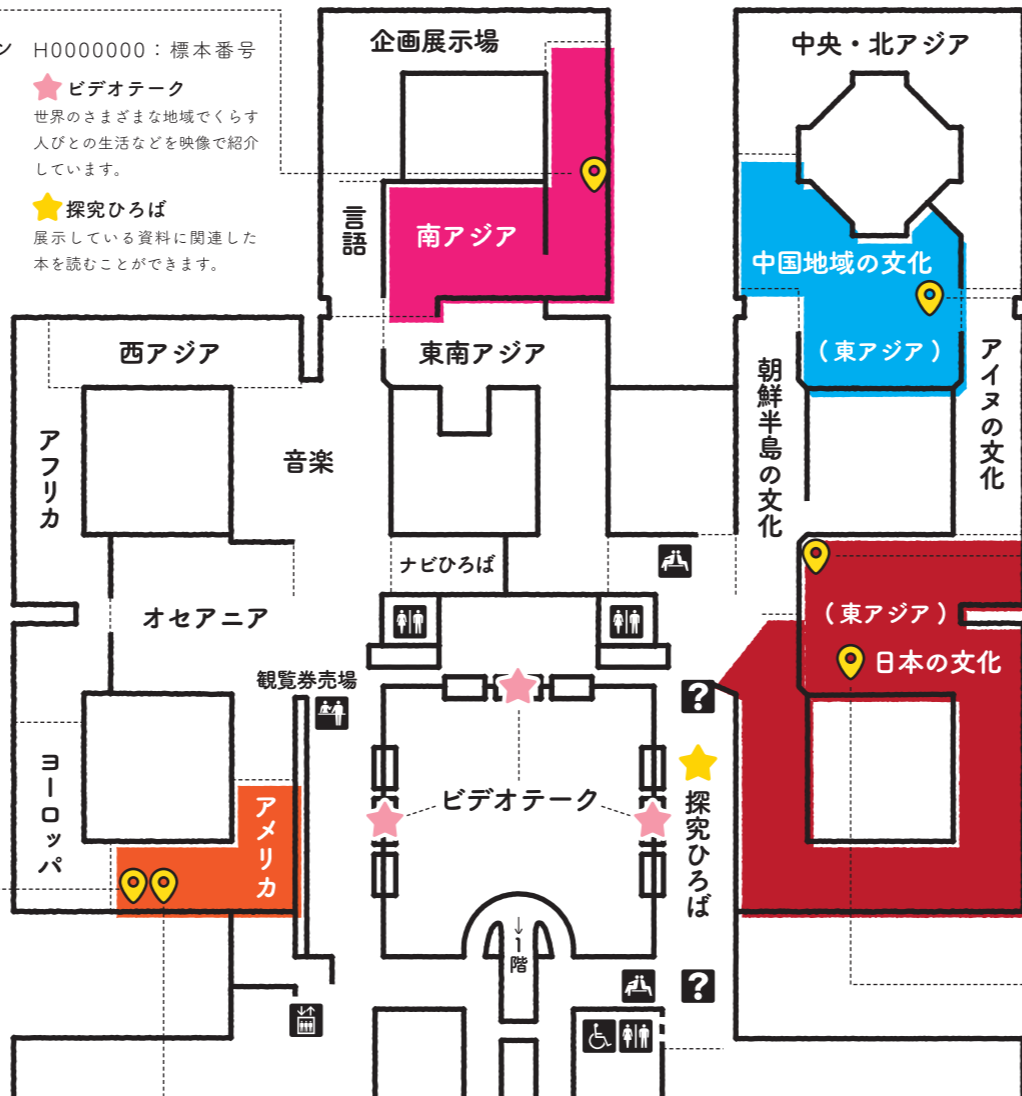


何を持っているのかな?



うさぎには、お願いが
かいてあるのかな?

- ? インフォメーション H0000000 : 標本番号
 - 観覧券売場
 - 休憩所
 - トイレ
 - 多目的トイレ
 - エレベーター
- ★ビデオテーク
世界のさまざまな地域でくらす人びとの生活などを映像で紹介しています。
- ★探究ひろば
展示している資料に関連した本を読むことができます。



日本の文化 絵馬 / 静岡県 H0015132

神仏に対して祈願する際に、小絵馬を社寺に奉納することは現在も広くみられます。小絵馬には馬、神仏の姿、祈願の内容などさまざまな画題が描かれます。うさぎなどの干支もそうした画題のひとつです。干支はもともと奉納した人の生年を示すものとして記されましたが、後にその年の干支にちなんで広く描かれるようになりました。
(笹原亮二 / 人類基礎理論研究部)

日本の文化 田楽のつゆはらい / 福島県 H0036441

福島県いわき市錦町御宝殿の熊野神社の夏祭りでは、8人の少年が田楽を踊ります。踊り手は東西2組に分かれ、そのうち東の組の1人は海を表すカラスが描かれたツユハライを、西の組の1人は山を表すウサギが描かれたツユハライを持って踊ります。祭りでは田楽のほかに、カラスの海方とウサギの山方が競う行事も行われます。
(笹原亮二 / 人類基礎理論研究部)

東のカラスと、西のうさぎ。カラスの足の数は…?



作者のユヴェット・タラスワイマさんは、銀製のくさりをつくる達人なんだっマ!



アメリカ ホビ族銀細工 / アメリカ H0281582

米国南西部にはジャック・ラビットと呼ばれる大型のうさぎが生息しています。藪から急に飛び出すうさぎに私は何度も驚かされました。この銀細工は先住民ホビが制作しました。作者のユヴェット・タラスワイマさんは、今から900年ほど前に作られた土器のデザインをお手本としました。その土器にはうさぎ狩りに使用する狩猟用の棒も描かれていました。
(伊藤敦規 / 人類文明誌研究部)



アメリカ 木彫 (うさぎ) / メキシコ H0268536 H0268543

アレブリヘと呼ばれる、メキシコのサンアントニオ・アラソラ村の木彫です。赤い方は、名人マヌエル・ヒメネスとその息子たちの作品。前脚をのばして今にも飛び跳ねそうですね。黒い方は、モイセス・ヒメネスとその妻の作品。長い耳をのばしてふり返っていますが、きっと後ろから名前を呼ばれたのかもしれない。
(鈴木紀 / 学術資源研究開発センター)



みんぱくうさぎさがし

このマップを頼りに、展示場ではうさぎがいます。さがしてみましよう。